



(公財)水道技術研究センター  
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28  
K. I. S 飯田橋ビル 7F  
TEL 03-5805-0264, FAX 03-5805-0265  
E-mail [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)  
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

## 米国内務省開拓局の WaterSMART による 2019 年 AMI (高度計量インフラ) 補助金について (その2)

### 1.6 オーシャンサイド市 (City of Oceanside)

- ① プロジェクト名：オーシャンサイド市高度計量インフラプロジェクト (フェーズ 1) (City of Oceanside Advanced Metering Infrastructure Project (Phase I))
- ② 開拓局補助金：150 万米ドル (165 百万円)
- ③ 総プロジェクトコスト：8,871,924 米ドル (976 百万円)
- ④ プロジェクトの概要

南カリフォルニアに位置するオーシャンサイド市は、21,689 台の既存のメーターを AMI に改造し、AMI システムを既存の顧客インターフェースプラットフォームと統合するなど、新しい高度計量インフラ (AMI) ネットワークを構築する。プロジェクトが完了すると、市のメーターの 49% が AMI ネットワークに接続される。このプロジェクトは、漏水、破損、その他の異常な消費パターンに関するリアルタイム情報を顧客に提供することにより、年間 1,425 千 m<sup>3</sup> の節水につながると期待されている。このプロジェクトによる節水は、歴史的に水不足と渇水を経験し、他の地域からの水に依存しており、人口及び水需要の増大が予測されている地域で大きな利益をもたらす。現在、オーシャンサイド市はサンディエゴ郡水道庁から飲料水の約 90% を購入している。この AMI プロジェクトによって節約された水は、市が既存の供給をより効率的に使用して需要を満たすのに役立つ。

### 1.7 オリブンヘイン自治体水区 (Olivenhain Municipal Water District)

- ① プロジェクト名：オリブンヘイン高度計量インフラ水利用効率化プロジェクト (Olivenhain Advanced Metering Infrastructure Water Use Efficiency Project)
- ② 開拓局補助金：30 万米ドル (33 百万円)
- ③ 総プロジェクトコスト：2,056,251 米ドル (226 百万円)
- ④ プロジェクトの概要

南カリフォルニアに位置するオリブンヘイン自治体水区は、6,044 台のメーター送信ユニットと新しい Customer Engagement Portal の設置を含む高度計量インフラ (AMI) プログラムの実施を継続する。プロジェクトが完了すると、地区のメーターの 74% が AMI システムに接続される。このプロジェクトは、漏水をよりタイムリーに特定・修復するとともに、水使用に関するリアルタイム情報を顧客に提供することにより、年間 1,110 千 m<sup>3</sup> の節水につながると期待されている。現在、この地区はサンディエゴ郡水道局から飲料水の 100% を購入している。この AMI プロジェクトを通じて節約された水は、地区が既存の供給をより効率的に使用するのに役立つ。

## 1.8 サンブエナベンチュラ市 (City of San Buenaventura)

- ① プロジェクト名：ベンチュラ水高度メーターインフラ変換プロジェクト（フェーズ 3）（Ventura Water Advanced Meter Infrastructure Conversion Project (Phase III)）
- ② 開拓局補助金：30 万米ドル（33 百万円）
- ③ 総プロジェクトコスト：2,342,510 米ドル（258 百万円）
- ④ プロジェクトの概要

南カリフォルニアに位置するサンブエナベンチュラ市は、10,112 台の人手検針のメーターを、住宅及び商業顧客向けの新しい高度計量インフラ（AMI）メーターに置き換えることとしている。新しいAMIシステムはリアルタイムデータを提供し、水の使用量に関する電子アラートを送信する。このプロジェクトにより、年間 318 千 m<sup>3</sup> の節水が期待され、ベンチュラ川、カシータス湖及び地下水の供給を補う。

## 1.9 サンタアナ市 (City of Santa Ana)

- ① プロジェクト名：サンタアナ自動計量インフラ設置プロジェクト（Santa Ana Automated Metering Infrastructure Installation Project）
- ② 開拓局補助金：30 万米ドル（33 百万円）
- ③ 総プロジェクトコスト：3,733,388 米ドル（411 百万円）
- ④ プロジェクトの概要

カリフォルニア州南部に位置するサンタアナ市は、11,250 台の人手検針の水道メーターを最新の高度計量インフラ（AMI）メーターに置き換えることとしている。AMIは、リアルタイムの運用モデリング情報を提供し、漏水検知システムを確立し、個人が水使用量をより適切に管理できるように水の消費データを提供する。このプロジェクトにより、現在は不正確さや漏水によって失われている年間 458 千 m<sup>3</sup> の節水が期待されている。サンタアナ市の現在の水供給は、地元の地下水と他の地域からの水の組合せに依存している。プロジェクトを通じて節約された水は、市の限られた地下水供給を補完し、追加の水を購入する必要性を減らすものとなる。

## 1.10 ヨーバリнда水区 (Yorba Linda Water District)

- ① プロジェクト名：ヨーバリнда高度計量インフラプロジェクト（フェーズ 1）（Yorba Linda Advanced Metering Infrastructure Project (Phase I)）
- ② 開拓局補助金：30 万米ドル（33 百万円）
- ③ 総プロジェクトコスト：2,186,308 米ドル（240 百万円）
- ⑤ プロジェクトの概要

南カリフォルニアに位置するヨーバリнда水区は、2,892 台の人手検針のメーターの交換、8,027 台の無線検針メーターと 3,191 台のレジスターの改造を含む、新しい高度計量インフラ（AMI）を設置する。当該地区はカリフォルニア州の水プロジェクトから水の 25%を購入し、残りの 75%は地元で揚水された地下水を使用している。当該地区は、渇水の時期や需要が増大する時期に水の需要を満たすことが困難であった。AMIを介して収集されたデータにより、当該地区は漏水をより効率的に特定して対応できるようになり、料金の支払者にリアルタイムのデータを提供して、節水と水の使用効率を改善できる。プロジェクトによる年間の節水量は、現在、過剰使用と漏水により失われている 1,465 千 m<sup>3</sup> である。プロジェクトを通じて節約された水は、当該地区が既存の水をより効率的に使用し、地下水の揚水を減らすのに役立つ。

## 2. オクラホマ州

### 2.1 デュラント市 (City of Durant)

- ① プロジェクト名：市全域 AMR スマートメーター交換及び高度計量インフラプロジェクト (City-Wide AMR Smart Meter Conversion and Advanced Metering Infrastructure Project)
- ② 開拓局補助金：150 万米ドル (165 百万円)
- ③ 総プロジェクトコスト：3,750,060 米ドル (413 百万円)
- ④ プロジェクトの概要

オクラホマ州南部のデュラント市は、5,999 台の人手検針のメーターをスマートメーター及び関連する高度計量インフラネットワークソフトウェアに置き換える。リアルタイムのデータを提供することにより、このプロジェクトでは、現在、漏水により失われている年間 1,237 千 m<sup>3</sup> の節水が期待されている。このプロジェクトは、ブルー川からデュラント市への限られた水供給と予想される人口増加に関する課題に対処するものである。

## 3. ワシントン州

### 3.1 リンウッド市 (City of Lynnwood)

- ① プロジェクト名：リンウッド高度計量インフラプロジェクト (Lynnwood Advanced Metering Infrastructure Project)
- ② 開拓局補助金：30 万米ドル (33 百万円)
- ③ 総プロジェクトコスト：4,789,634 米ドル (527 百万円)
- ④ プロジェクトの概要

ワシントン州北西部に位置するリンウッド市は、既存の 6,218 台の人手検針の住宅用メーターを高度計量インフラ (AMI) 技術で機能向上し、既存の 2,421 台のメーターに新しいレジスターを設置する。新しい AMI システムは、水の顧客にリアルタイムの検針量を提供する。このプロジェクトでは、年間 326 千 m<sup>3</sup> の節水が期待されており、これによりスノホミッシュ流域からの水の需要が減少する。

(担当) 調査事業部

---

#### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC 水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記まで E-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K. I. S 飯田橋ビル7F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

#### 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー (第58号以降) は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-rl.html>

#### 水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。